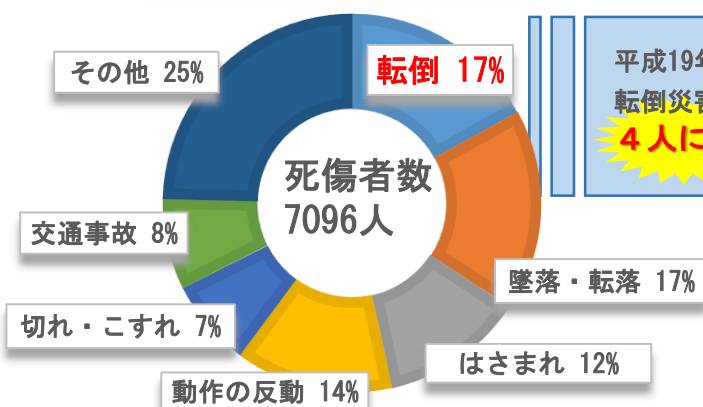


# 「転倒防止に集中！！」

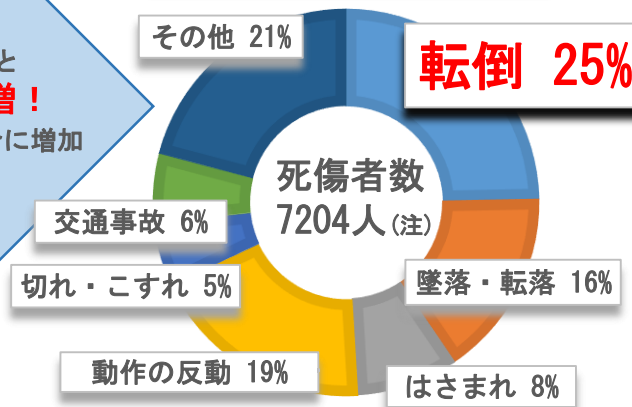
「STOP!転倒災害プロジェクト神奈川2021」推進中

令和2年に神奈川県内で発生した労働災害（休業4日以上死傷災害）による死傷者数は7,617人、事故の型別に分類すると「転倒」が1772人で全体の約25%を占めており、近年、増加傾向にあります。

平成19年の事故の型別労働災害発生状況



令和2年の事故の型別労働災害発生状況

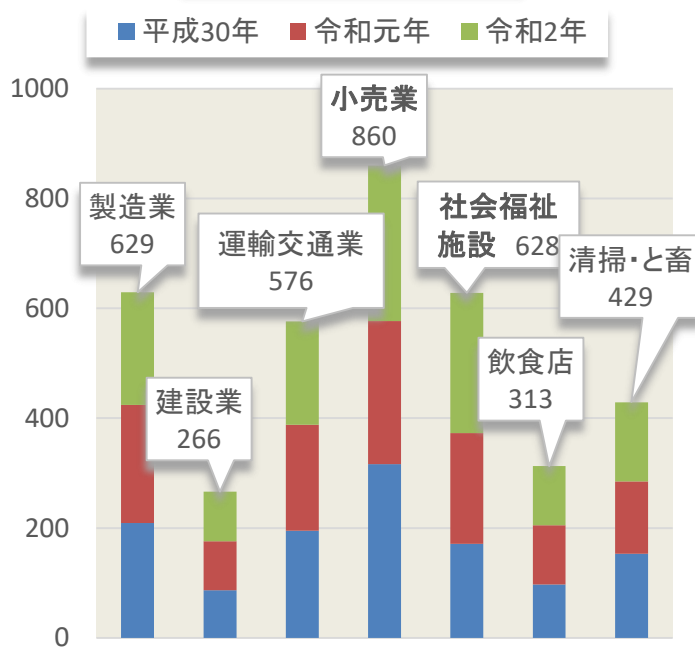


平成19年と比べると  
転倒災害は8%増！  
4人に1人の割合に増加

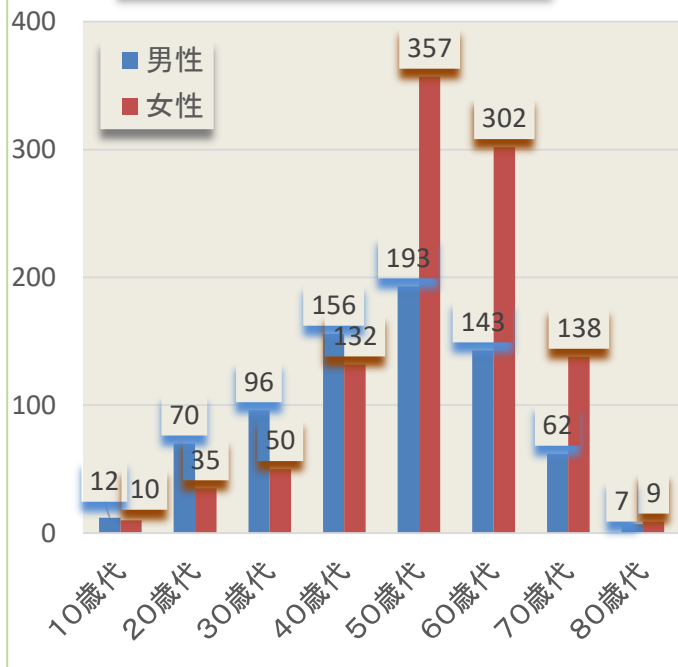
(注)コロナリ患者413人除く

転倒災害は小売業、社会福祉施設、製造業で数多く発生していますが、どの業種でも発生しています。また、約7割が50歳以上の高齢者であり、特に女性労働者に顕著です。一度けがをすると休業が長期化します。

直近3年間の業種別転倒災害発生状況



令和2年の年齢別・男女別転倒災害発生状況



神奈川労働局・県下各労働基準監督署



転倒災害防止は、**3つの注意（STF注意）**が基本です。



すべり注意



つまずき注意



踏み外し注意

皆さまの職場には似たような危険はありませんか？  
転倒災害を防ぐには、次の取り組みが有効です。

- 1 作業場所の整理整頓
- 2 作業場所の清掃
- 3 毎日の運動



「ころばNICEかながわ体操」

以下のチェック項目で事業場を点検してみましょう。

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った対滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを、標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>